

現場説明書

- 1 工事（委託）名 橋梁架替えに伴う予備設計業務 委託
- 2 工事（委託）番号 建委 第 5 号
- 3 工事（委託）場所 御所市 今住 地内
- 4 現場説明書返却について ダウンロードによる（返却不要）

5 現場説明書記載項目

- 第1章 概要
- 第2章 入札に関する注意事項
- 第3章 特記事項
- ・ 入札条件書
 - ・ 特記仕様書
 - ・ その他

6 仕様書

7 位置図

御 所 市 役 所

第 1 章 概 要

1	工事（委託）名	橋梁架替えに伴う予備設計業務	委託
2	工事（委託）番号	建委	第 5 号
3	工事（委託）場所	御所市	今住 地内
4	工事（委託）概要	橋梁予備設計	一式
5	竣工（履行）期日	令和7年12月12日	
6	発注担当課	建設課	

第2章 入札に関する注意事項

- 1 現場説明書等（仕様書、設計図面等）に対する質問の応答
質問が有る場合は、管財課入札係窓口へ質問書を~~持参~~メールにより提出してください。
（質問が無い場合は、質問書の提出は必要ありません。）
kanzai@city.gose.nara.jp
質問書提出期限 令和 7 年 6 月 9 日 11 : 00 までに提出してください。
提出場所 御所市役所 管財課 （新館2階）
質問書様式 <http://www.city.gose.nara.jp/>
- 2 入札書に記載する価格は、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載してください。
（消費税及び地方消費税を含まない価格）

入札手続きに対する問い合わせは、管財課入札係にお問い合わせください。
- 3 回答方法 （令和 7 年 6 月 11 日 17 : 00 までに）
回答文書を~~FAX~~メールにより当該質問者に送信いたします。
但し、公平性に支障を来す場合等、質問内容によっては、入札参加者全員に回答します。
該当する者は受信出来ましたら、回答文書が無事届いたかを確認したいので、早急に市役所管財課へ返信FAXをお願いします。
- 4 現場説明書等の交付について
御所市ホームページからダウンロードにより提供

第3章 特記事項

1 総論

本業務委託の契約書、設計図書（仕様書、図面、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）を十分に理解し、履行してください。

2 履行条件

（1）一般事項

※ 本業務委託は、土木設計業務委託共通仕様書（奈良県土木部）最新版、及び、公共下水道実施設計業務委託特記仕様書（御所市産業建設部都市整備課）により履行するものとする。

（土木設計業務委託共通仕様書中「奈良県土木部が発注する」、は、「御所市が発注する」に置き換えるものとする。

入 札 条 件 書

委託番号	建委 第 5 号
委託名	橋梁架替えに伴う予備設計業務 委託
委託箇所	御所市 今住 地内
履行期間	契約日翌日（土日、祝日除く）から、 令和7年12月12日
担当課	建設課

上記の工事（委託）の入札について、下記の条件により実施いたします。

- 1 共通事項 当該入札は、地方自治法（昭和22年法律第67号）、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）、御所市契約規則（昭和39年10月20日規則第18号）その他法令、規則などに基づき執行いたします。

- 2 当該入札に

関する条件

入札方法	郵便	予定価格	9,515,000 円(税込み)
再度入札	なし	入札書比較価格	8,650,000 円(税抜き)
前払金請求	請負額が300万円を上回った場合可	最低制限基準価格	7,634,000 円(税込み)
		最低制限基準比較価格	6,940,000 円(税抜き)
議会の議決	不要	各年度における支払予定額の割合	令和 / 年度 / % 令和 / 年度 / % 令和 / 年度 / %

- 3 入札辞退 入札を辞退するときは、事前に辞退届の提出が必要となります。
- 4 入札中止 入札手続執行途中で入札に競争性が無くなった場合は、その段階で入札手続き又は入札を中止します。

契約時必要事項（落札者決定後、記入）

落札者名	
契約額	
契約日	
その他	・ 契約は落札日から8日以内（落札日を含む。土日祝日も含む。）に締結しなければなりません。

御所市役所

特記仕様書

業 務 名 : 橋梁架替えに伴う予備設計業務
委 託 番 号 : 建委第 号
業 務 場 所 : 御所市 今住 地内

第1条 摘要

本業務の履行にあたっては、本特記仕様書による他、「土木設計業務等委託必携(令和2年10月、奈良県土木部)」によるものとする。

第2条 業務目的

本業務は、下記橋梁に対し、現地条件等を考慮し架け替えに必要な予備設計を行うものである。

(現橋梁の諸元)

【橋 梁 名】: 中橋
【位 置】: 御所市 今住 地先
【架 設 年】: 1937年
【橋 長】: 19.5m
【幅 員】: 3.0m
【構造形式】: RC T桁

第3条 前提条件

橋梁の予備設計業務を以下のとおり行うものとする。なお、橋梁の設計等については、仮設方法を勘案し橋梁形式の比較検討を行い、下部工及び基礎工について施工性、経済性及び安全性等を勘案した比較検討を行い、その基本的な構造諸元を決定するものとする。また、比較一覧表及び比較案それぞれに対し、一般図及び概算工事費を算定するものとする。

第4条 業務内容

本業務は県道:戸毛久米線と市道:今住高取線を結ぶ中橋の架替に必要な予備設計を行うものである。

1. 橋梁の設計について、施工条件や輸送等の地域条件、経済比較等を行い、最適な橋種、下部構造、基礎工等の提案を行うものとする。
2. 関係機関との協議用・説明用として作成する資料は以下のとおりとする。
河川協議、県道接続協議、警察協議、地元説明資料
3. 予備設計により必要となる設計計画、設計計算、設計図、概算工事費の算出等、発注者の求める資料を作成し整理するものとする。
4. 今回発注の設計業務は同一箇所を業種別により発注し業務を遂行するため、各業務受注者は協力のもと十分に打合せを行い、業務を行うものとする。

第5条 貸与資料

本業務を実施するに当たり、下記の資料を貸与する。

- ① 同時期発注の測量業務資料
- ② 同時期発注の地質調査資料
- ③ 数量計算書等、とりまとめに必要な電子データ

第6条

適用基準及び準拠基準等

本業務の実施にあたっては、「土木設計業務等共通仕様書(令和2年度10月奈良県土木部)」(以下「共通仕様書」という。)の他、以下の基準類を参考にすることとする。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ① 道路橋示方書・同解説 I ～ V | (日本道路協会) |
| ② 舗装設計便覧 | (") |
| ③ 道路橋床版防水便覧 | (") |
| ④ 鋼道路橋塗装・防食便覧 | (") |
| ⑤ 道路橋支承便覧 | (") |
| ⑥ 防護柵の設置基準・同解説 | (") |
| ⑦ 車両用防護柵標準仕様・同解説 | (") |
| ⑧ 改訂建設省河川砂防技術基準(案) | (日本河川協会) |
| ⑨ 河川管理施設等構造令 | (") |
| ⑩ 奈良県河川管理規則 | (奈良県) |

その他、必要と思われる基準書類。ただし、各基準とも最新版を使用することとする。

第7条

土地への立ち入り等

1. 業務の実施に伴う植物の伐採、かき、さく等の除去又は、土地または工作物の一時使用により生じる損失については受注者の負担とする。
2. 現地調査を実施する場合、調査員のうち1人は必ず自己身分証明書を携帯して業務にあたるものとする。また、調査員だけでなく、住民、歩行者、通行車両等の第三者の安全確保にも努めなければならない。

第8条

報告書作成

業務成果をとりまとめ、報告書を作成する。また、合わせて概要版の作成も行う。

なお、成果品は「土木設計業務等の電子納品要領(案)(国土交通省)」及び「土木設計業務等の電子納品ガイドライン(案)(奈良県)」に基づいて作成した電子データを、従来式の原稿に代わるものとしてCD-Rに納め、2部提出するとともに製本版2部(報告書(ファイル綴じ)および焼図面(A3縮小版))を納品する。

第9条

電子納品について

本業務は電子納品対象業務とする。成果品提出の際には、ウイルス対策を実施したうえで提出するものとする。なお、書面における署名または押印の取り扱いについては、別途調査職員と協議すること。

第10条

コスト縮減について

本業務において、経済性・工期の短縮・環境対策等について検討・決定した工法、形状、構造、使用材料、施工方法等に関して、別途定めた様式(計画設計段階コスト縮減留意書)に整理の上、提出するものとする。

記載に際しては、工法、形状、構造、使用材料、施工方法等を確定した際の概略コスト縮減額及び工事費等とし、業務内で算定可能な精度とする。また、その際に前段階の予備設計時に提出されたコスト縮減留意書の内容を必ず参照し、後段階に継承する事を基本とする。様式内の具体策については、「奈良県公共工事コスト縮減対策に関する新行動計画の後期実施計画」内の具体策とし、該当する具体策がない場合は、その他項目とする。縮減対象となる従来の考え方による工法、形状、構造、使用材料、施工方法等については、平成14年当時のものとする。その設定、工事費等の算定については、調査職員と協議又は指示を受けるものとする。

第11条

管理技術者について

等業務における管理技術者は、下記いずれかの資格を有すること。

- ① 技術士(総合技術管理部門(建設—鋼構造及びコンクリート))
- ② 技術士(建設部門(鋼構造及びコンクリート))
- ③ RCCM(鋼構造及びコンクリート部門)
- ④ 上記①又は②と同等の能力と経験を有する技術者

ただし、④における「上記①又は②と同等の能力と経験を有する技術者」とは、国土交通省「建設コンサルタント登録規定」第3条一項口により認定された技術者とする。

第12条 照査技術者について

1. 当業務における照査技術者は、下記いずれかの資格を有すること

- ① 技術士(総合技術管理部門(建設のいずれかの科目))
- ② 技術士(建設部門)
- ③ RCCM(道路・鋼構造コンクリート部門)
- ④ 上記①又は②と同等の能力と経験を有する技術者

ただし、④における「上記①又は②と同等の能力と経験を有する技術者」とは、国土交通省「建設コンサルタント登録規定」第3条一項口により認定された技術者もしくは、提出された業務実績及び経歴等に関する資料より、大学又は高等学校卒業後、10年以上業務に該当する実務経験を有し、上記①～④と同等の知識及び技能を有すると認められるものをいう。

2. 照査技術者は以下に定める照査報告ごとにおける照査結果の照査報告書及び報告完了時における全体の照査報告書を取りまとめ、照査技術者の責において署名捺印のうえ管理技術者に提出するものとする。

3. 受注者は、業務の実施にあたり、照査を適切に実施しなければならない。成果物を取りまとめるにあたって、設計図、設計計算書、数量計算書等について、それぞれ及び相互(設計図—設計計算書間、設計図—数量計算書間 等)の整合を確認する上で確認マークをするなどして分かりやすく確認結果を示し、間違いの修正を行うための照査(以下、「赤黄チェック」という)を原則として実施する。なお、赤黄チェックの資料は調査職員の請求があった場合は速やかに提示しなければならない。

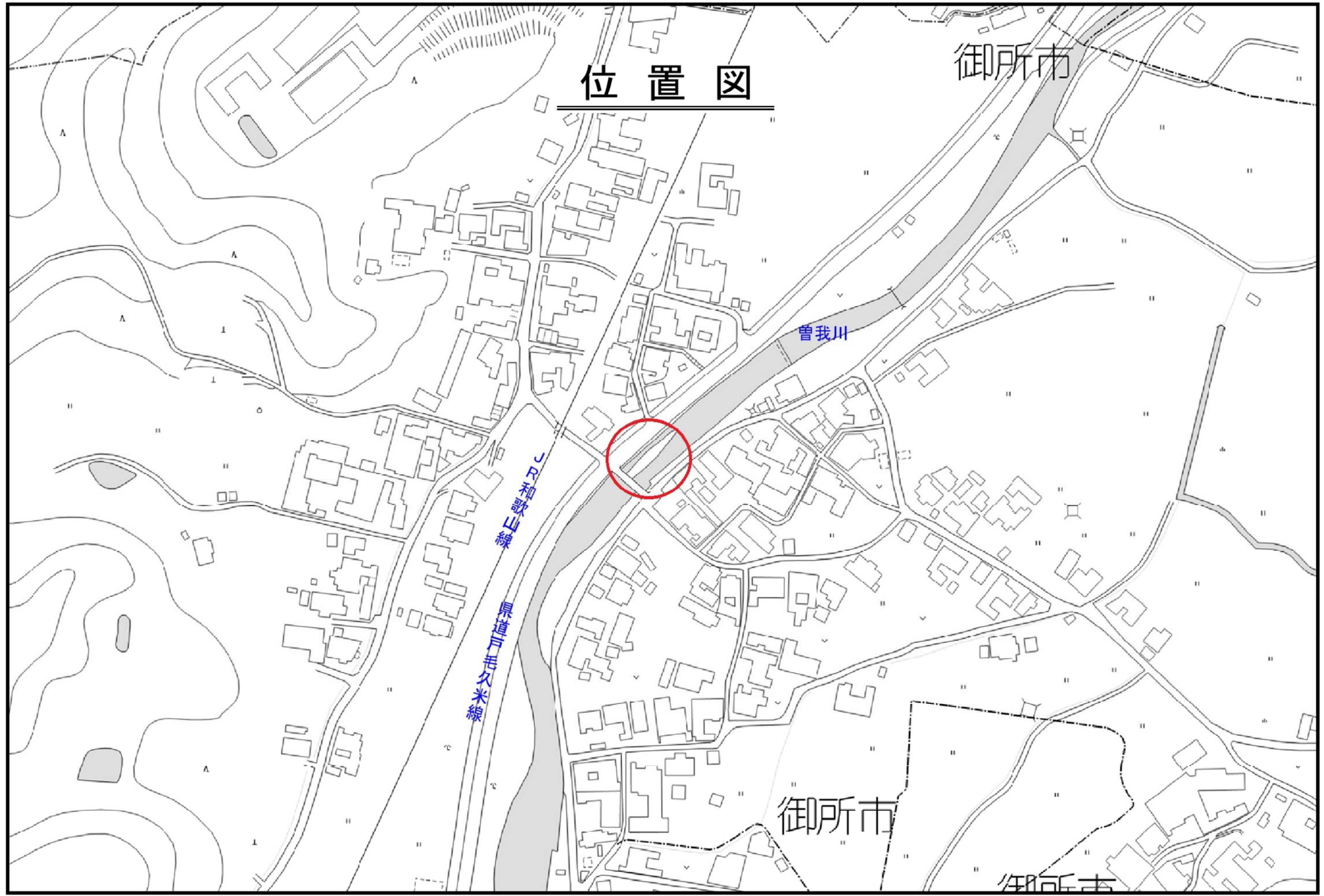
4. 照査技術者は、成果物納入時の照査報告の際に、赤黄チェックの根拠となる資料を提示するものとする。

5. 照査技術者は、原則として変更できない。ただし、死亡、傷病、退職、出産、育児、介護等やむを得ない理由により変更を行う場合には、同等以上の技術者とするものとし、受注者は発注者の承諾を得なければならない。

第13条 担当技術者について

受注者は、業務の実施にあたって担当技術者を定める場合は、その氏名その他必要な事項を調査職員に提出するものとする。(管理技術者と兼務するものを除く)

位置図



令和7年度

委託設計書

(当 初)

御所市

部長				課長				主幹				係長				検算				設計			
作成年月日											工 事 概 要	当 初				変 更							
委託業務名		橋梁架替えに伴う予備設計										橋梁予備設計 一式											
工 事 番 号		建委第 号																					
路線・河川名																							
委 託 箇 所		御所市 今住 地内																					
当初設計金額 (変更前)		円									当初請負金額 (変更前)		円										
変更設計金額 (変更後)		円									変更請負金額 (変更後)		円										
変更請負金額 計 算 式		<div>(請 負 率) 当初請負額 ÷ 当初設計額 = 円 ÷ 円 =</div> <div>(変 更 価 格) 変更設計工事価格 × 請負率 = 円 × = 円</div> <div>(変更消費税等相当額) 変更価格 × 0.1 = 円 × = 円</div> <div>(変 更 契 約 額) 変更価格 + 変更消費税等相当額 = 円 + 円 = 円</div>																					

事 務 所 名	御所市	単価適用年月	令和 7年 5月
課 名・係 名	建設課	歩掛適用年月	令和 7年 5月
単 価 地 区	4 地区	損料適用年月	令和 7年 5月
		諸経費適用年月	令和 7年 5月
調 整 区 分			
安 全 費 率		電子成果品作成費	(1) 概略設計、予備設計又は詳細設計<設計業務>
		委 託 先	建設コンサルタント<設計業務>
変 更 理 由	<div></div> <div></div> <div></div> <div></div>		

事業費総括表

費目	金額	摘要
事業費		
工事費		
本工事費		
測量及び試験費		別紙内訳書のとおり
補償費		
用地費		
機械器具費		
営繕費		
工事雑費		
応急工事費		
事務費		

設計内訳書（設計書01）

工事番号： 建委第 号

工事名	橋梁架替えに伴う予備設計				事業区分 工事区分	土木設計業務 橋梁設計	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋梁設計							レベル1
			式	1			
橋梁設計							レベル2
			式	1			
橋梁予備設計							レベル3
			式	1			
橋梁予備設計							内 1 号
			(橋)式	(1.0)			
共通							レベル1
			式	1			
共通(設計業務)							レベル2
			式	1			
打合せ等							レベル3
			式	1			
打合せ							単 1 号
			業務	1.0			
直接経費							レベル1
			式	1			
直接経費							レベル2
			式	1			
電子成果品作成費							レベル3
			式	1			

設計内訳書（設計書01）

工事番号： 建委第 号

工事名	橋梁架替えに伴う予備設計				事業区分 工事区分	土木設計業務 直接経費	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
電子成果品作成費(設計)							
		式	1				
直接原価（その他原価を除く）							
		式	1				
その他原価							
		式	1				
業務原価							
		式	1				
一般管理費等							
		式	1				
業務価格							
		式	1				
消費税相当額							
		式	1				
設計業務費							
		式	1				

一式当り内訳書（設計書01）

単価使用年月	2025.05
歩掛適用年月	2025.05
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

内 1号	橋梁予備設計			単位	(橋)式	数量	(1)		
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
設計計画	橋梁延長25m はい [+10%]								単 2 号
		(橋)式	(1)						
設計計算	橋梁延長25m はい [+10%]								単 3 号
		(橋)式	(1)						
設計図	橋梁延長25m はい [+10%]								単 4 号
		(橋)式	(1)						
概算工事費	橋梁延長25m はい [+10%]								単 5 号
		(橋)式	(1)						
照査	橋梁延長25m はい [+10%]								単 6 号
		(橋)式	(1)						
報告書作成	橋梁延長25m はい [+10%]								単 7 号
		(橋)式	(1)						
現地踏査									単 8 号
		業務	1						
関係機関との協議資料作成									単 9 号
		業務	1						
計									

1 次 単 価 表（設計書01）

単価使用年月	2025.05
歩掛適用年月	2025.05
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 1号	打合せ		単位	業務	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
打合せ							単 10 号	
			業務					
計								
単価							円/業務	

2 次 単 価 表(参考資料) (設計書01)

単価使用年月	2025.05
歩掛適用年月	2025.05
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 2号	設計計画	橋梁延長25m はい [+10%]	単位	(橋) 式	割戻数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
主任技術者								
			人					
理事・技師長								
			人					
主任技師								
			人					
技師(A)								
			人					
技師(B)								
			人					
計								

2 次 単 価 表(参考資料) (設計書01)

単価使用年月	2025.05
歩掛適用年月	2025.05
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 3号	設計計算	橋梁延長25m はい [+10%]	単位	(橋) 式	割戻数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
主任技師								
			人					
技師(A)								
			人					
技師(B)								
			人					
技師(C)								
			人					
計								

2 次 単 価 表(参考資料) (設計書01)

単価使用年月	2025.05
歩掛適用年月	2025.05
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 4号	設計図	橋梁延長25m はい [+10%]	単位	(橋) 式	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
技師(B)								
			人					
技師(C)								
			人					
技術員								
			人					
計								

2 次 単 価 表(参考資料) (設計書01)

単価使用年月	2025.05
歩掛適用年月	2025.05
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 5号	概算工事費	橋梁延長25m はい [+10%]	単位	(橋) 式	割戻数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
技師(A)								
			人					
技師(B)								
			人					
技師(C)								
			人					
技術員								
			人					
計								

2 次 単 価 表(参考資料) (設計書01)

単価使用年月	2025.05
歩掛適用年月	2025.05
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 6号	照査	橋梁延長25m はい [+10%]	単位	(橋) 式	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
理事・技師長								
			人					
主任技師								
			人					
技師(A)								
			人					
計								

2 次 単 価 表(参考資料) (設計書01)

単価使用年月	2025.05
歩掛適用年月	2025.05
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 7号	報告書作成	橋梁延長25m はい [+10%]	単位	(橋) 式	割戻数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
技師(A)								
			人					
技師(B)								
			人					
技師(C)								
			人					
技術員								
			人					
計								

2 次 単 価 表(参考資料) (設計書01)

単価使用年月	2025.05
歩掛適用年月	2025.05
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 8号	現地踏査		単位	業務	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
主任技師								
			人					
技師(A)								
			人					
技師(B)								
			人					
技師(C)								
			人					
計								
単価							円/業務	

2 次 単 価 表(参考資料) (設計書01)

単価使用年月	2025.05
歩掛適用年月	2025.05
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 9号	関係機関との協議資料作成		単位	業務	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
技師(B)								
			人					
技師(C)								
			人					
技術員								
			人					
計								
単価							円/業務	

2 次 単 価 表(参考資料) (設計書01)

単価使用年月	2025.05
歩掛適用年月	2025.05
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 10号	打合せ		単位	業務	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
主任技師								
			人					
技師(A)								
			人					
技師(B)								
			人					
計								
単価								
								円/業務
J01 中間打合せ回数		1回						

橋梁架替えに伴う予備設計業務

御所市 今住 地内

- ・ 橋梁予備設計
橋梁予備設計 1 橋
- ・ 打合せ協議
打合せ 1 業務
関係機関打合せ協議 2 機関

作業区分

橋梁予備設計における作業区分は以下のとおりとする。

作業区分	区 分	作 業 の 範 囲
設計計画	設計計画	業務の目的・主旨を把握したうえで特記仕様書に示す業務内容を確認し、業務概要・実施方針・業務工程・業務組織計画・打合せ計画・成果物の内容、部数・使用する主な図書及び基準・連絡体制(緊急時含む)等の事項について業務計画書(照査計画書を含む)を作成する。
	設計条件の確認	特記仕様書に示された道路の幾何構造、荷重条件等設計施工上の基本的条件並びに地質条件を確認し、当該設計用に整理を行う。
	橋梁形式比較案の選定	橋長、支間割りの検討を行い、架橋地点の橋梁としてふさわしい橋梁形式数案について、構造特性、施工性、経済性、維持管理、環境との整合など総合的な観点から技術的特徴、課題を整理し、評価を加えて、調査職員と協議のうえ、設計する比較案3案の選定を行う。
	基本事項の検討	設計を実施する橋梁形式比較案に対して、構造特性(安定性、耐震性、走行性)・施工性(施工の安全性、難易性、確実性、工事用道路及び作業ヤード)・経済性・維持管理(耐久性、管理の難易性)・環境との整合(修景、騒音、振動、近接施工)等の事項を標準として技術的検討を行う。
設計計算	設計計算	上部工の設計計算については、主要点(主桁最大モーメント又は軸力の生ずる箇所)の概算応力計算及び概略断面検討を行い、支間割、主桁配置、桁高、主構等の決定を行うものとする。下部工及び基礎工については、震度法により、躯体及び基礎工の形式規模を想定し、概算の応力計算及び安定計算を行う。
設計図	設計図	橋梁形式比較案のそれぞれに対し、一般図(平面図、側面図、上下部工、基礎工主要断面図)を作成し、鉄道、道路、河川との関連、建築限界及び河川改修断面図等を記入するほか、土質柱状図の記入を行う。なお、構造物の基本寸法の表示は、橋長支間長、幅員、桁高、桁間隔、下部工及び基礎工の主要寸法のみとする。また、既設構造物及び計画等との位置関係がわかる寸法を記入する。
概算工事費算出	概算工事費算出	橋梁形式比較案のそれぞれに対し、概算数量を算出し、それを基に概算工事費を算定する。
照査	照査	照査技術者は、下記に示す事項を標準として照査を行い、管理技術者に提出する。 ①基本条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。特に地形、地質条件については、設計の目的に対応した情報が得られているかの確認を行う。 ②一般図を基に橋台位置、径間割り、支承条件及び地盤条件と橋梁形式の整合が適切にとれているかの照査を行う。また埋設物、支障物件、周辺施設との近接等、施工条件が設計計画に反映されているかの照査を行う。 ③設計方針及び設計手法が適切であるかの照査を行う。 ④設計計算、設計図、概算工事費の適切性及び整合性に着目し照査を行う。
報告書作成	報告書作成	設計業務の成果として、設計業務成果概要書・設計計算書等・設計図面・数量計算書・概算工事費・施工計画書・現地踏査結果等について作成を行う。なお、設計条件・橋梁形式比較案毎に当該構造物の規模及び形式の選定の理由・道路、鉄道、河川の交差条件・主要材料の概略数量・概算工事費算出・主桁主要断面寸法、下部工躯体及び基礎寸法、くい本数等概略計算の主要結果・橋梁形式比較一覧表・詳細設計にむけての必要な調査・検討事項について解説し、とりまとめて記載した設計概要書の作成を行う。
	橋梁形式比較一覧表の作成	橋梁形式比較案に関する検討結果をまとめ、橋梁形式比較一覧表の作成を行う。橋梁形式一覧表には一般図(側面図、上下部工及び基礎工断面図)を記入するほか、「基本事項の検討」において実施した技術的特徴、課題を列記し、各橋梁形式比較案の評価を行い、最適橋梁形式案を明示する。
その他(標準歩掛対象外)	地震時保有水平耐力法による耐力照査	道路、鉄道、河川の交差条件等において橋台、橋脚の位置を決定するに当たり、躯体の寸法、支間割及び支承条件等は建築限界、河川条件、河積阻害率等と密接に関係するため、諸条件のポイントとなる橋台、橋脚について地震時保有水平耐力法による耐力照査を行う。
	関係機関との協議資料作成	関係機関との協議用資料、説明用資料作成を行う。
	現地踏査	架橋地点の現地踏査を行い、特記仕様書に基づいた設計範囲及び貸与資料と現地との整合性を目視により確認するものとする。また、地形・地質等の自然状況、沿道・交差・用地条件等の周辺条件を把握し、合わせて工事用道路・施工ヤード等の施工性の判断に必要な基礎的な現地状況の把握を行う。